

Syllabus Id	syl-060059		
Subject Id	sub-060305670		
更新履歴	060113		
授業科目名	電子制御工学特別演習 [Advanced exercise for digital engineering]		
担当教員名	遠山和之 TOHYAMA Kazuyuki		
対象クラス	電子制御工学科5年生		
単位数	1学修単位		
必修/選択	選択		
開講時期	集中講義		
授業区分	基礎・専門工学系		
授業形態	演習		
実施場所	電子制御工学科棟2F D5ホームルーム 電子制御工学科棟4F 遠山研究室、卒研指導教員室		
授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)			
電子制御工学科において1学年から4学年までに学んだ基本的事項と社会における一般常識を身につける。また、企業人(技術者)としての必要なコミュニケーション能力や礼儀を学ぶ。			
準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)			
数学、電気回路、計算機工学、工学数理、プログラミング言語(C,Java)、英語 etc.			
学習・教育目標	Weight	目標	
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
D:コミュニケーション能力を備え、国際社会に発信し、活躍できる能力			
学習・教育目標の達成度検査			
1.工学基礎学力は演習問題の実施結果を記載したノートと口頭試問により行う。			
2.国際的な受信・発信能力の評価は面接による口頭試問と小論文およびTOEIC模擬試験により行う。			
授業目標			
1. 高校程度の数学の問題、基礎的な電気回路、論理回路、プログラム言語に関する問題が解ける。			
2. 文法や字句に誤りが無く、論旨を分かりやすく伝える400字程度の文章が書ける。			
3. 礼儀正しい会話、分かりやすく論旨の伝わる会話ができる。			
授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)			
回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	ガイダンス	科目の概要、スケジュール、評価方法と基準、等の説明	
第2回		春季休業中に8時間/日、3日間の集中講義を行う。その時間に基礎演習問題と一般常識問題、小論文を作成する。 第1日:文字の書き方の基本、一般常識 第2日:電気回路基礎問題、話し方の基本 第3日:計算機工学、プログラミング言語基礎問題、小論文の書き方、小論文作成	
第3回			
第4回			
第5回			
第6回			
第7回			
第8回			
第9回			
第10回			
第11回			個人毎に面接および口頭試問を一人当たり3回程度、合計3時間行う。口頭試問の実施時期および場所は卒研指導教官の指示に従う。
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			

課題 1. 小論文 2. 履歴書の作成 オフィスアワー:	
評価方法と基準 評価方法: 1. 高校程度の数学の問題、基礎的な電気回路、論理回路、プログラム言語に関する問題が解ける。 2. 文法や字句に誤りが無く、論旨を分かりやすく伝える400字程度の文章が書ける。 3. 礼儀正しい会話、分かりやすく論旨の伝わる会話ができる。 評価基準: ノートチェック30%、小論文30%、口頭試問40%	
教科書等	電気電子工学基礎問題のプリント 参考書:SPI関連の書籍
先修科目	
関連サイトのURL	
授業アンケートへの対応	
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。